

1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

調査区域における動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況に関する情報についてとりまとめた文献資料は、表 4-1-29 に示すとおりです。

調査区域では、平地の大部分が住宅地、水田に利用され、丘陵地には二次林、果樹園等が分布しており、平地の水田や耕作地、丘陵地の樹林地に生息する種が存在しているものと考えられます。

表 4-1-29(1) 既存文献資料一覧

No.	文献資料名	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	底生動物	クモ類	陸産貝類	植物
1	「第 1 回自然環境保全基礎調査 すぐれた自然図 香川県」(昭和 51 年、環境庁)		○		○		○				○
2	「第 2 回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 香川県」(昭和 56 年、環境庁)	○	○		○	○	○				○
3	「第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書ほか」(昭和 63 年～平成元年、環境庁)		○			○	○	○		○	○
4	「第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書ほか」(平成 5～7 年、環境庁)	○	○	○	○	○	○	○		○	○
5	「第 5 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査報告書ほか」(平成 13～14 年、環境省)	○		○	○	○	○	○		○	○
6	「第 6 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査報告書ほか」(平成 15～16 年、環境省)	○	○								○
7	「香川生物 第 29 号」(平成 14 年 5 月、香川生物学会)		○								
8	「香川生物 第 30 号」(平成 15 年 5 月、香川生物学会)					○					
9	「香川生物 第 31 号」(平成 16 年 6 月、香川生物学会)		○	○	○	○		○			
10	「香川生物 第 32 号」(平成 17 年 6 月、香川生物学会)		○								○
11	「香川生物 第 33 号」(平成 18 年 5 月、香川生物学会)	○									
12	「香川生物 第 34 号」(平成 19 年 3 月、香川生物学会)						○				
13	「香川生物 第 38 号」(平成 23 年 6 月、香川生物学会)										○
14	「香川生物 第 39 号」(平成 24 年 3 月、香川生物学会)						○			○	
15	「香川生物 第 41 号」(平成 26 年 6 月、香川生物学会)						○				
16	「香川生物 第 42 号」(平成 27 年 6 月、香川生物学会)		○				○				○
17	「香川生物 第 43 号」(平成 28 年 6 月、香川生物学会)						○				○
18	「香川生物 第 44 号」(平成 29 年 6 月、香川生物学会)								○		○
19	「香川生物 第 45 号」(平成 30 年 6 月、香川生物学会)								○		
20	「香川生物 第 46 号」(令和元年 6 月、香川生物学会)						○		○		○
21	「香川生物 第 47 号」(令和 2 年 6 月、香川生物学会)		○				○	○			
22	「香川生物 第 48 号」(令和 3 年 6 月、香川生物学会)			○		○	○	○	○		○
23	「香川生物 第 49 号」(令和 4 年 6 月、香川生物学会)	○				○	○		○		
24	「香川生物 第 50 号」(令和 5 年 6 月、香川生物学会)					○	○				
25	「香川生物 第 51 号」(令和 6 年 6 月、香川生物学会)		○		○	○	○	○			
26	「香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物」(令和 3 年 3 月、香川県)	○	○	○	○	○	○	○		○	○
27	「令和 6 年度版 高松市環境白書」 (令和 7 年 1 月、高松市環境局環境総務課)	○	○	○	○	○					

表 4-1-29(2) 既存文献資料一覧

No.	文献資料名	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	底生動物	クモ類	陸産貝類	植物
28	「みんつく香川 FIELD NOTE 第1号」(令和4年12月、特定非営利活動法人みんなで作る自然史博物館・香川)						○			○	
29	「みんつく香川 FIELD NOTE 第2号」(令和5年6月、特定非営利活動法人みんなで作る自然史博物館・香川)						○		○		
30	「みんつく香川 FIELD NOTE 第3号」(令和6年6月、特定非営利活動法人みんなで作る自然史博物館・香川)									○	
31	「みんつく香川 FIELD NOTE 第4号」(令和7年6月、特定非営利活動法人みんなで作る自然史博物館・香川)						○			○	
32	「生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)」(平成28年4月、環境省自然環境局自然環境計画課)		○		○	○					
33	「指定希少野生生物保護区の指定」(平成19年5月11日香川県告示第289号)										○
34	「植物群落レッドデータ・ブック<1996>」(平成8年、(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会)										○

注) 文献No.2~6については、「自然環境調査Web-GIS」(環境省自然環境局生物多様性センターHP)も併せて確認した。

1) 文献による動物の生息の状況

(1) 動物相の状況

① 哺乳類の状況

調査区域において生息記録のある哺乳類としては、7目15科28種があげられます。調査区域において、コキクガシラコウモリ、ノウサギ、ムササビ、アカネズミ、タヌキ等の生息が確認されています。

② 鳥類の状況

調査区域において生息記録のある鳥類としては、18目51科165種があげられます。調査区域及びその周辺において、キジ、カイツブリ、ヤマシギ、ミサゴ、サシバ、サンコウチョウ等の生息が確認されています。

③ 爬虫類の状況

調査区域において生息記録のある爬虫類としては、2目10科17種があげられます。調査区域及びその周辺において、ニホンイシガメ、クサガメ、ニホンヤモリ等の生息が確認されています。

④ 両生類の状況

調査区域において生息記録のある両生類としては、2目7科15種があげられます。調査区域及びその周辺において、セトウチサンショウウオ、ニホンヒキガエル、トノサマガエル等の生息が確認されています。

⑤ 魚類の状況

調査区域において生息記録のある魚類としては、17目56科147種があげられます。調査区域及びその周辺において、ニホンウナギ、フナ類、ミナミメダカ、トビハゼ等の生息が確認されています。

⑥ 昆虫類の状況

調査区域において生息記録のある昆虫類としては、14目151科1032種があげられます。調査区域及びその周辺において、オオアオイトトンボ、チョウトンボ、セスジツユムシ、アオバハゴロモ、ミズイロオナガシジミ、ヒメゲンゴロウ等の生息が確認されています。

⑦ 底生動物の状況

調査区域において生息記録のある底生動物としては、14目49科74種があげられます。調査区域及びその周辺において、オオタニシ、カワザンショウガイ、モノアラガイ、アカテガニ等の生息が確認されています。

⑧ クモ類の状況

調査区域において生息記録のあるクモ類としては、2目23科56種があげられます。調査区域及びその周辺において、ワスレナグモ、ジョロウグモ、イエオニグモ、イソハエトリ等の生息が確認されています。

⑨ 陸産貝類の状況

調査区域において生息記録のある陸産貝類としては、2目17科83種があげられます。調査区域及びその周辺において、サドヤマトガイ、オオギセル、ヒゼンキビ、マヤサンマイ等の生息が確認されています。

(2) 重要な動物種の状況

① 重要な動物種の選定基準

重要な動物種の選定基準は、表4-1-30に示すとおりです。

表4-1-30 重要な動物種の選定基準とカテゴリ概要

番号	資料名	重要種選定基準
I	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法 (昭和25年5月30日法律第214号) 香川県文化財保護条例 (昭和30年10月1日香川県条例第17号) 高松市文化財保護条例 (昭和41年3月29日高松市条例第13号) 	特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
II	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成4年6月5日法律第75号) 	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
III	<ul style="list-style-type: none"> 香川県希少野生生物の保護に関する条例 (平成17年7月15日香川県条例第44号) 	指定：香川県指定希少野生生物
IV	<ul style="list-style-type: none"> 環境省レッドリスト2020の公表について (令和2年3月27日、環境省) 	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧I類 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類 VU：絶滅危惧II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
V	<ul style="list-style-type: none"> 香川県レッドデータブック2021 香川県の希少野生生物 (令和3年3月、香川県) 	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧I類 VU：絶滅危惧II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
VI	<ul style="list-style-type: none"> 環境省版海洋生物レッドリストの公表について (平成29年3月21日、環境省) 	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類 VU：絶滅危惧II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域 個体群

② 重要な動物種の状況

調査区域における重要な動物種の状況は、表 4-1-31 に示すとおりです。

調査区域において生息記録がある重要な動物としては、哺乳類では 1 種、鳥類では 50 種、爬虫類では 5 種、両生類では 6 種、魚類では 32 種、昆虫類では 147 種、底生動物では 50 種、クモ類では 1 種、陸産貝類では 25 種があげられます。このうち、確認位置が特定できた重要種位置は、図 4-1-11 に示すとおりです。

実施区域には、既往調査及び文献により確認位置が特定できた重要な動物種としてミナミメダカやニホンウナギ等が存在します。

表 4-1-31(1) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（哺乳類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準				
						I	II	III	IV	V
1	哺乳類	ネコ目	イタチ科	ニホンイタチ	4, 5, 26, 27					NT
重要な種の合計 1目 1科 1種						0種	0種	0種	0種	1種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31(2) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（鳥類 1/2）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	
1	鳥類	カモ目	カモ科	オシドリ	3, 27				DD		
2				トモエガモ	26				VU	NT	
3		ペリカン目	サギ科	ササゴイ	2, 27					NT	
4				アマサギ	2, 4, 27					NT	
5				チュウサギ	27				NT		
6				クロサギ	2, 27					VU	
7		ツル目	ツル科	ナベヅル	27		国際		VU		
8			クイナ科	クイナ	3, 27					NT	
9				ヒクイナ	2, 26, 27				NT	NT	
10		カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	26					NT	
11				カッコウ	2					NT	
12		ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	2				NT	NT	
13		アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	2, 3, 26					VU	
14		チドリ目	チドリ科	タゲリ	27					NT	
15				イカルチドリ	2, 3, 26, 27					NT	
16				コチドリ	2, 3, 27					NT	
17				シロチドリ	2, 3, 27					VU	NT
18				セイタカシギ科	セイタカシギ	27				VU	VU
19				シギ科	ヤマシギ	3, 27					VU
20					ツルシギ	27				VU	VU
21					コアオアシシギ	26					VU
22					タカブシギ	27				VU	
23					オジロトウネン	26, 27					VU
24					ヒバリシギ	26					VU
25					ウズラシギ	26					VU
26					ハマシギ	3, 27				NT	
27					キリアイ	26					VU
28			タマシギ科	タマシギ	2, 3, 27				VU	NT	
29			カモメ科	ズグロカモメ	26, 27				VU	VU	
30				オオセグロカモメ	3				NT		
31				コアジサシ	2, 4, 2, 26, 27				VU	VU	
32			ウミスズメ科	ウミスズメ	27				CR		
33			タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	3, 9, 27				NT	NT
34		タカ科		ツミ	3, 26					VU	
35				ハイタカ	3, 27				NT	NT	
36				オオタカ	27				NT	NT	
37				サシバ	2, 6, 26				VU	VU	

表 4-1-31 (3) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（鳥類 2/2）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	
38	鳥類	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	2, 7, 27					NT	
39		ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	26					CR+EN	
40		キツツキ目	キツツキ科	アリスイ	3, 27					NT	
41		ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	3, 27					NT	
42				ハヤブサ	3, 27		国内		VU	NT	
43		スズメ目		サンショウクイ科	サンショウクイ	2				VU	VU
44				ツリスガラ科	ツリスガラ	3, 27					NT
45				シジュウカラ科	コガラ	6					NT
46				カワガラス科	カワガラス	2, 26					NT
47				ヒタキ科	トラツグミ	2, 26, 27					NT
48					コサメビタキ	2, 27					NT
49				イワヒバリ科	カヤクグリ	27					NT
50		ホオジロ科	ホオアカ	26, 27					NT		
重要な種の合計 13目 26科 50種						0種	2種	0種	22種	43種	

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (4) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（爬虫類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準				
						I	II	III	IV	V
1	爬虫類	カメ目	インガメ科	ニホンインガメ	5, 9				NT	NT
2			スッポン科	ニホンスッポン	9, 22, 26, 27				DD	DD
3		有鱗目	ヤモリ科	タワヤモリ	26, 27				NT	NT
4			トカゲ科	ニホントカゲ	5, 26, 27					NT
5			タカチホヘビ科	タカチホヘビ	26, 27					DD
重要な種の合計 2目 5科 5種						0種	0種	0種	3種	5種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (5) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（両生類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	
1	両生類	有尾目	サンショウウオ科	イシヅチサンショウウオ	26, 27				NT	VU	
2				セトウチサンショウウオ	1, 2, 5, 25, 27		国内		VU	VU	
3			イモリ科	アカハライモリ	9, 27				NT	NT	
4		無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	4, 5, 27					NT	
5				アカガエル科	トノサマガエル	5, 27				NT	NT
6				ナゴヤダルマガエル	1, 2, 26, 27, 32				EN	CR+EN	
重要な種の合計 2目 4科 6種						0種	1種	0種	5種	6種	

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (6) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（魚類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準							
						I	II	III	IV	V	VI		
1	魚類	トビエイ目	マダラトビエイ科	ナルトビエイ	27						NT		
2		ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	5, 9, 24, 26, 27				EN	VU			
3		コイ目	コイ科	ヤリタナゴ	4, 5, 9, 26, 27				NT	CR+EN			
4				アブラボテ	4, 5, 26, 27				NT	CR+EN			
5				ニッポンバラタナゴ	2, 4, 5, 9, 26, 27, 32			指定	CR	CR+EN			
6				カワバタモロコ	25, 26, 27		国内	指定	EN	CR+EN			
7				ハス	9, 27					VU			
8				ヌマムツ	9, 25, 26, 27						CR+EN		
9				タカハヤ	24, 27						NT		
10				ムギツク	24, 26, 27						VU		
11				イトモロコ	2, 3, 4, 5, 9, 24, 26, 27						CR+EN		
12				スゴモロコ	4, 5						VU		
13				ドジョウ科	ドジョウ	ドジョウ	9, 24, 26, 27				NT	VU	
14						オオシマドジョウ	3, 24, 26, 27					NT	
15						チュウガタスジシマドジョウ	5, 24, 26, 27					VU	VU
16						フクドジョウ科	ナガレホトケドジョウ	27				EN	CR+EN
17		ナマズ目	アカザ科	アカザ	23, 24, 26, 27				VU	CR+EN			
18		ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	2, 3, 4, 5, 9, 23, 24, 26, 27				VU	VU			
19		スズキ目	メバル科	タケノコメバル	24, 27						NT		
20			アイナメ科	アイナメ	24						LP		
21			カジカ科	カジカ大卵型	26, 27			指定	NT	CR+EN			
22			カワアナゴ科	カワアナゴ	24, 26, 27						NT		
23			ハゼ科	ヒモハゼ	ヒモハゼ	24, 26, 27				NT	NT		
24					シロウオ	24, 26, 27					VU	VU	
25					タビラクチ	24, 26					VU	VU	
26					トビハゼ	22, 23, 24, 26, 27					NT	VU	
27					マサゴハゼ	24, 26, 27					VU	VU	
28					オオヨシノボリ	26						VU	
29					シマヒレヨシノボリ	24, 25, 27					NT	DD	
30					チクゼンハゼ	24, 26, 27					VU	VU	
31					クボハゼ	24, 26, 27					EN	NT	
32					キセルハゼ	26					EN	CR+EN	
重要な種の合計 6目 12科 32種						0種	1種	3種	22種	27種	3種		

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (7) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（昆虫類 1/4）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	
1	昆虫類	トンボ目 (蜻蛉目)	イトトンボ科	ホソミイトトンボ	26					NT	
2				アジアイトトンボ	3, 4, 5, 15					VU	
3				セスジイトトンボ	3, 4, 5, 26					NT	
4				ムスジイトトンボ	15, 26					VU	
5					ヤマイトトンボ科	シコクトゲオトンボ	26				NT
6					ムカシトンボ科	ムカシトンボ	26				NT
7					ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	26			NT	VU
8						アオヤンマ	2, 26			NT	VU
9						マルタンヤンマ	2, 4, 5, 26				VU
10						コシボソヤンマ	26				NT
11						カトリヤンマ	15, 26				VU
12						サラサヤンマ	15, 26				NT
13					サナエトンボ科	ミヤマサナエ	5, 26				CR+EN
14						キイロサナエ	5, 26			NT	DD
15						クロサナエ	26				NT
16						アオサナエ	26				VU
17						ホンサナエ	26				CR+EN
18						ヒメサナエ	5, 26				NT
19						オジロサナエ	2, 26				NT
20						タバサナエ	16, 26			NT	NT
21						フタスジサナエ	17, 26			NT	VU
22						エゾトンボ科	キイロヤマトンボ	26			NT
23					ハネヒロエゾトンボ		5			VU	DD
24					トンボ科	ベッコウトンボ	4, 5, 26		国内	CR	EX
25						ハッチョウトンボ	2, 5				CR+EN
26						コノシメトンボ	5, 17				VU
27						キトンボ	26				VU
28						ナツアカネ	5, 26				VU
29						アキアカネ	5, 16, 26				VU
30						ナニワトンボ	5, 26			VU	NT
31						ノシメトンボ	5, 26				NT
32						ヒメアカネ	16, 26				NT
33						オオキトンボ	2, 26			EN	VU
34	バッタ目 (直翅目)		キリギリス科	サヌキササキリモドキ	26				NT		
35			バッタ科	ヤマトマダラバッタ	26				NT		
36	カメムシ目 (半翅目)		サンガメ科	ゴミアシナガサンガメ	26			VU	DD		
37			ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ	26				NT	NT	
38			ミズギワカメムシ科	オモゴミズギワカメムシ	26				NT	DD	
39			コオイムシ科	コオイムシ	26				NT	NT	
40				タガメ	2, 26		国内		VU	EX	
41			タイコウチ科	ヒメタイコウチ	26					VU	
42				ヒメミズカマキリ	5, 26					DD	
43			ナベブタムシ科	ナベブタムシ	26					NT	
44	オオウスバカゲロウ	2						VU			
45	トビケラ目 (毛翅目)		トビケラ科	ツマグロトビケラ	26				NT		

表 4-1-31 (8) 既往調査及び文献により確認された重要な動物 (昆虫類 2/4)

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準								
						I	II	III	IV	V				
46	昆虫類	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種	3					NT				
47				ミヤマセセリ	26					NT				
48				ホソバセセリ	5					NT				
49				オオチャバネセセリ	26					NT				
50				キマダラセセリ	3, 4, 5, 17					NT				
51				ヘリグロチャバネセセリ	2, 3, 4, 5, 16					NT				
52			シジミチョウ科	オオミドリシジミ	5					NT				
53				ウラジロミドリシジミ	3, 4, 5, 26					VU				
54				ウラナミアカシジミ	2, 5, 28					VU				
55				ミドリシジミ	26					NT				
56				クロツバメシジミ中国地方・四国・九州内陸亜種	2, 4, 5, 26					NT	NT			
57				シルビアンシジミ	2, 5, 26					EN	CR+EN			
58			タテハチョウ科	コムラサキ	5, 26					NT				
59				ウラギンスジヒョウモン	3, 4, 5					VU	CR+EN			
60				スミナガシ本土亜種	26					NT				
61				オオウラギンヒョウモン	2, 26					CR	EX			
62				シータテハ	26						CR+EN			
63				オオムラサキ	1, 2					NT	NT			
64				ウラナミジャノメ本土亜種	4, 5						VU			
65				アゲハチョウ科	カラスアゲハ本土亜種	3, 4, 5, 15					NT			
66			オナガアゲハ		3, 4, 5, 26					NT				
67			シロチョウ科	ツマグロキチョウ	26					EN	CR+EN			
68			ジャクガ科	クワトゲエダシャク	16					NT				
69				キイロミモンエダシャク	26						NT			
70				マスイカバナムシヤク	26						NT			
71			シャチホコガ科	キシヤチホコ	26						VU			
72				アカネシャチホコ	26						NT			
73			ヒトリガ科	ヤネホソバ	25					NT				
74			ドクガ科	ブチヒゲヤナギドクガ	26						CR+EN			
75			ヤガ科	リンゴケンモン	26						VU			
76				コシロシタバ	5, 16						NT			
77				ナマリキシタバ	5, 26							NT		
78				アサマキシタバ	16							NT		
79				ワモンキシタバ	5							NT		
80				キクセダカモクメ	26							VU		
81				ニセタバコガ	26							NT		
82				ウラジロアツバ	26							VU		
83				コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	オオヨツボシゴミムシ	26, 28						DD	
84						クロカタビロオサムシ	26							DD
85			アワオサムシ			26							NT	
86			コキベリアオゴミムシ			26							DD	
87			ヒトツメアオゴミムシ			17							NT	
88			クビナガキベリアオゴミムシ			26							DD	DD
89			オサムシモドキ			26							VU	
90			オオキベリアオゴミムシ			26							DD	

表 4-1-31 (9) 既往調査及び文献により確認された重要な動物 (昆虫類 3/4)

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	
91	昆虫類	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	タナカツヤハネゴミムシ	16				DD		
92				インノシマチビアトキ リゴミムシ	26					DD	
93				キベリマルクビゴミムシ	26				EN	VU	
94				オオヒラタトックリゴ ミムシ	26					CR	CR+EN
95				オオクロナガゴミムシ	20, 26						NT
96				ホソヒョウタンゴミムシ	26						NT
97				オオタキメクラチビゴ ミムシ	26						VU
98				リツリンメクラチビゴ ミムシ	26						CR+EN
99				サトウメクラチビゴミ ムシ	26						NT
100				ハンミョウ科	ヨドシロヘリハンミョウ	2, 26				VU	CR+EN
101			アイヌハンミョウ		26				NT	VU	
102			ルイスハンミョウ		2, 5, 26				EN	CR+EN	
103			コニワハンミョウ		26					NT	
104			エリザハンミョウ		26					VU	
105			ホソハンミョウ		2, 5, 26				VU	CR+EN	
106			コガタノゲンゴロウ		2, 12, 26, 29				VU	DD	
107			ヒメシマチビゲンゴロウ		5, 12					NT	
108			ミズスマシ科	オオミズスマシ	26				NT	VU	
109				コミズスマシ	12, 26				EN	DD	
110				ヒメミズスマシ	12, 26				EN	VU	
111				ミズスマシ	12				VU	NT	
112			ホソガムシ科	チュウブホソガムシ	26				VU	NT	
113			ガムシ科	コガムシ	15				DD		
114			ムネアカセンチコ ガネ科	ムネアカセンチコガネ	17, 26					DD	
115			コガネムシ科	ヤマトアオドウガネ	25					NT	
116				アカマダラハナムグリ	2, 26				DD	VU	
117				クチキマグソコガネ	26					NT	
118				アシナガコガネ	26					DD	
119				マルエンマコガネ	26					NT	
120				ヒロシマオオトラフハ ナムグリ	26					NT	
121				シロスジコガネ	26					NT	
122	ナラノチャイロコガネ	26						NT			
123	ムラサキツヤハナムグリ	26						NT			
124	クロカナブン	26						CR+EN			
125	タマムシ科	クロマダラタマムシ	26					NT			
126	ホタル科	ヘイケボタル	26					NT			
127	ベニボタル科	ツヤバネベニボタル	26					DD			
128	テントウムシ科	ジュウサンホシテントウ	26					NT			
129	カミキリムシ科	アカアシオオアカミ キリ	15, 26					DD			
130		ベニバナカミキリ	26					NT			
131		トラフカミキリ	26					DD			

表 4-1-31 (10) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（昆虫類 4/4）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準				
						I	II	III	IV	V
132	昆虫類	コウチュウ目 (鞘翅目)	ハムシ科	ガガブタネクイハムシ	26					NT
133			ゾウムシ科	モリモトシギゾウムシ	26					NT
134				ハマベゾウムシ	26, 31					DD
135				アワナガオチバゾウムシ	26					NT
136		ハチ目 (膜翅目)	コマユバチ科	ウマノオバチ	26				NT	NT
137				アリ科	トゲアリ	26				VU
138			スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ	16				DD	
139				モンスズメバチ	15, 25				DD	
140			ドロバチモドキ科	キアシハナダカバチモドキ	16				VU	
141			ミツバチ科	クロマルハナバチ	16				NT	
142				ウスルリモンハナバチ	16, 26					NT
143				ナミルリモンハナバチ	17, 26					NT
144			ハキリバチ科	トモンハナバチ	26					NT
145				クズハキリバチ	26				DD	NT
146	キバラハキリバチ	26					NT	NT		
147	マイマイツツハナバチ	16					DD			
重要な種の合計 7目 46科 147種						0種	2種	0種	50種	136種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (11) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（底生動物 1/2）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	VI
1	底生動物	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ツボミガイ	21, 26				NT	NT	
2		古腹足目	ニシキウズガイ科	イボキサゴ	21				NT	NT	
3		新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	3, 26				VU	VU	
4				オオタニシ	3, 4				NT		
5			ウミニナ科	ウミニナ	21, 22				NT		
6				イボウミニナ	26				VU	CR+EN	
7			キバウミニナ科	ヘナタリガイ	26				NT	CR+EN	
8			ワカウラツボ科	カワグチツボ	26				NT	CR+EN	
9				ワカウラツボ	26				VU	CR+EN	
10			カワザンショウガイ科	クリイロカワザンショウガイ	26				NT	NT	
11				ツブカワザンショウガイ	26				NT	VU	
12				ヒラドカワザンショウガイ	26					NT	
13				カワザンショウガイ	26					NT	
14				ヨシダカワザンショウガイ	26					NT	CR+EN
15			エゾマメタニシ科	マメタニシ	4				CR	CR+EN	
16			ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	26				NT	CR+EN	
17			イソコハクガイ科	シラギクガイ	26				NT	NT	
18			シロネズミガイ科	ハツカネズミ	26				CR+EN	CR+EN	
19			タマガイ科	アダムズタマガイ	26				NT	VU	
20				ゴマフタマガイ	21, 26				CR+EN	CR+EN	
21			フジツガイ科	ウネボラ	26				EN	CR+EN	
22		フトコロガイ科	マルテンスマツムシガイ	26				CR+EN	CR+EN		

表 4-1-31(12) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（底生動物 2/2）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
						I	II	III	IV	V	VI
23	底生動物	新生腹足目	エゾバイ科	オガイ	26				EN	VU	
24				ナガゴマフホラダマシ	26				VU	VU	
25		汎有肺目	トウガタガイ科	カキウラクチキレモドキ	26					NT	
26			モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	3				DD		
27				モノアラガイ	3, 5, 9, 26				NT	DD	
28			ヒラマキガイ科	カワネジガイ	26				CR	EX	
29				カワコザラガイ	5				CR		
30				ミズコハクガイ	26				VU	CR+EN	
31				ヒラマキミズマイマイ	3, 4, 5, 9				DD		
32			フネガイ目	フネガイ科	ヒメエガイ	26				EN	CR+EN
33	イシガイ目	イシガイ科	マルドブガイ	9, 26				VU	CR+EN		
34		ウロコガイ科	マツモトウロコガイ	26				NT	VU		
35			スジホシムシモドキヤドリガイ	26				NT	NT		
36	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	3, 9				VU			
37		ドブシジミ科	ドブシジミ	26					NT		
38		マルスダレガイ科	オキシジミ	26					NT		
39		ニッコウガイ科	ユウシオガイ	26				NT	NT		
40			サビシラトリ	26				NT	CR+EN		
41			ウズザクラガイ	26				NT	NT		
42		シオサザナミ科	オチバガイ	26				NT	VU		
43			フジナミガイ	26				CR+EN	VU		
44			ムラサキガイ	26				VU	VU		
45		バカガイ科	バカガイ	21, 26					NT		
46	ミルクイ		26				VU	NT			
47	フロホシムシ目	スジホシムシ科	スジホシムシモドキ	21						NT	
48	エビ目	ヤドカリ科	テナガツノヤドカリ	21						DD	
49		ベンケイガニ科	アカテガニ	26					NT		
50		スナガニ科	シオマネキ	26				指定	VU	CR+EN	
重要な種の合計 9目 31科 50種						0種	0種	1種	41種	42種	2種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31(13) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（クモ類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準				
						I	II	III	IV	V
1	クモ類	クモ目	ジグモ科	ワスレナグモ	19				NT	
重要な種の合計 1目 1科 1種						0種	0種	0種	1種	0種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-31 (14) 既往調査及び文献により確認された重要な動物（陸産貝類）

番号	類名	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準				
						I	II	III	IV	V
1	陸産貝類	中腹足目	ヤマタニシ科	サドヤマトガイ	4, 5				NT	NT
2		柄眼目	キセルガイ科	カゴシマノミギセル	26					CR+EN
3				ツムガタギセル	26					VU
4				コシボソギセル	4, 5, 26				NT	NT
5				ホソヒメギセル	3, 4, 5, 26				VU	NT
6				クロチビギセル	5				NT	
7				モリサキギセル	4, 5, 14				NT	NT
8				ナラビヒダギセル	26					CR+EN
9				オオギセル	26				NT	CR+EN
10				コンボウギセル	26					NT
11				ナタネガイ科	ツクシナタネ	26				
12			ナメクジ科	イボイボナメクジ	5, 30				NT	VU
13			オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ	5				NT	
14			ベッコウマイマイ科	ヒメカサキビ	4, 5				NT	
15				オオウエキビ	4, 5				DD	
16				ヒゼンキビ	5				NT	
17				ウメムラシタラガイ	4, 5				NT	
18				ヒラベッコウガイ	4, 5				DD	
19				ナンバンマイマイ科	トサビロウドマイマイ	31				VU
20				ヒメビロウドマイマイ	3				VU	
21			オナジマイマイ科	マヤサンマイマイ	26				VU	CR+EN
22		チクヤケマイマイ		5					NT	
23		シコクケマイマイ		5				NT		
24		ハタケダマイマイ		5				NT	CR+EN	
25		イソムラマイマイ		26				指定	CR+EN	CR+EN
重要な種の合計 2目 8科 25種						0種	0種	1種	19種	16種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

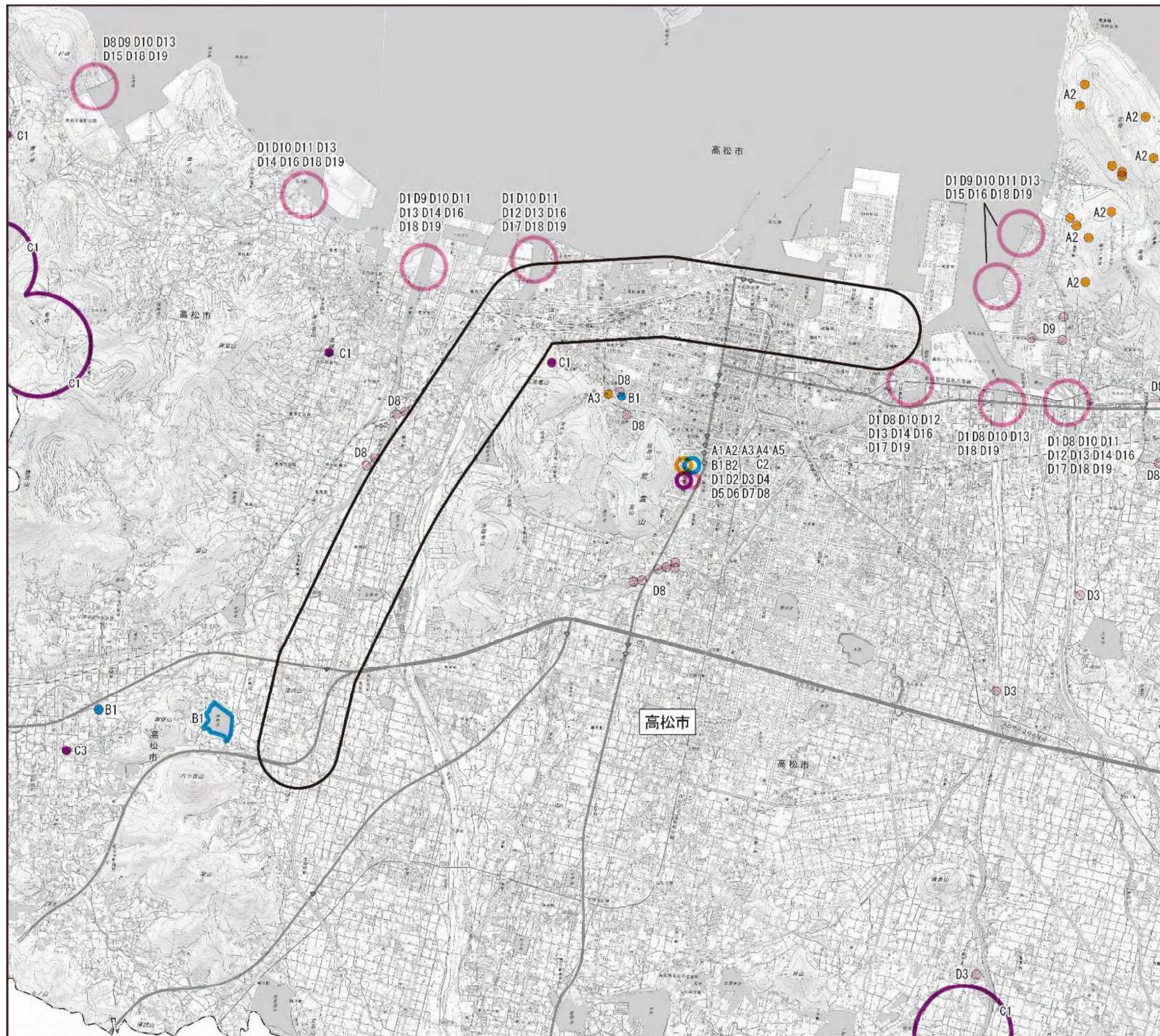
表 4-1-32(1) 確認位置が特定できた重要な動物種

番号	分類	種名	選定基準						文献 No.
			I	II	III	IV	V	VI	
A1	鳥類	オンドリ				DD			27
A2		ミサゴ				NT	NT		9, 27
A3		アオバズク					NT		7, 27
A4		ハヤブサ		希少		VU	NT		27
A5		トラツグミ					NT		27
B1	爬虫類	ニホンスッポン				DD	DD		9, 22
B2		ニホンイシガメ				NT	NT		9
C1	両生類	セトウチサンショウウオ		希少		VU	VU		1, 2, 25
C2		アカハライモリ				NT	NT		9
C3		ナゴヤダルマガエル				EN	CR+EN		2
D1	魚類	ニホンウナギ				EN	VU		9, 24
D2		ヤリタナゴ				NT	CR+EN		9
D3		ニッポンバラタナゴ			指定	CR	CR+EN		2, 9
D4		ヌマムツ					CR+EN		9
D5		イトモロコ					CR+EN		9
D6		ドジョウ				NT	VU		9
D7		オオシマドジョウ					NT		9
D8		ミナミメダカ				VU	VU		9, 23, 24
D9		トビハゼ				NT	VU		23, 24
D10		タケノコメバル						NT	24
D11		アイナメ						LP	24
D12		カワアナゴ					NT		24
D13		ヒモハゼ				NT	NT		24
D14		シロウオ				VU	VU		24
D15		タビラクチ				VU	VU		24
D16		マサゴハゼ				VU	VU		24
D17		シマヒレヨシノボリ				NT	DD		24
D18		チクセンハゼ				VU	VU		24
D19		クボハゼ				EN	NT		24
E1	昆虫類	アオヤンマ				NT	VU		2
E2		ヘリグロチャバネセセリ					NT		2
E3		ウラナミアカシジミ					VU		2
E4		クロツバメシジミ				NT	NT		2
E5		シルビアシジミ				EN	CR+EN		2
E6		オオムラサキ				NT	NT		1
E7		ヨドシロヘリハンミョウ				VU	CR+EN		2
E8		ホソハンミョウ				VU	CR+EN		2
E9		コムズスマシ				EN	DD		12
E10		ヒメミズスマシ				EN	VU		12
E11		アカマダラハナムグリ				DD	VU		2
E12		トモンハナバチ					NT		26

表 4-1-32(2) 確認位置が特定できた重要な動物種

番号	分類	種名	選定基準						文献 No.
			I	II	III	IV	V	VI	
E13	昆虫類	ヤネホソバ				NT			25
E14		ヤマトアオドウガネ					NT		25
E15		モンスズメバチ				DD			25
F1	底生動物	ツボミガイ				NT	NT		21
F2		イボキサゴ				NT	NT		21
F3		ウミニナ				NT			21
F4		ゴマフタマガイ				CR+EN	CR+EN		21
F5		モノアラガイ				NT	DD		9
F6		ヒラマキミズマイマイ				DD			9
F7		マルドブガイ				VU	CR+EN		9
F8		マシジミ				VU			9
F9		バカガイ					NT		21
F10		スジホシムシモドキ						NT	21
F11		テナガツノヤドカリ						DD	21
G1	陸産貝類	トサビロウドマイマイ				VU	VU		31

注) 表中の番号は、図4-1-11の番号に対応している。

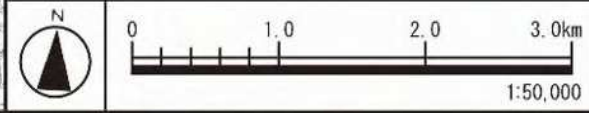


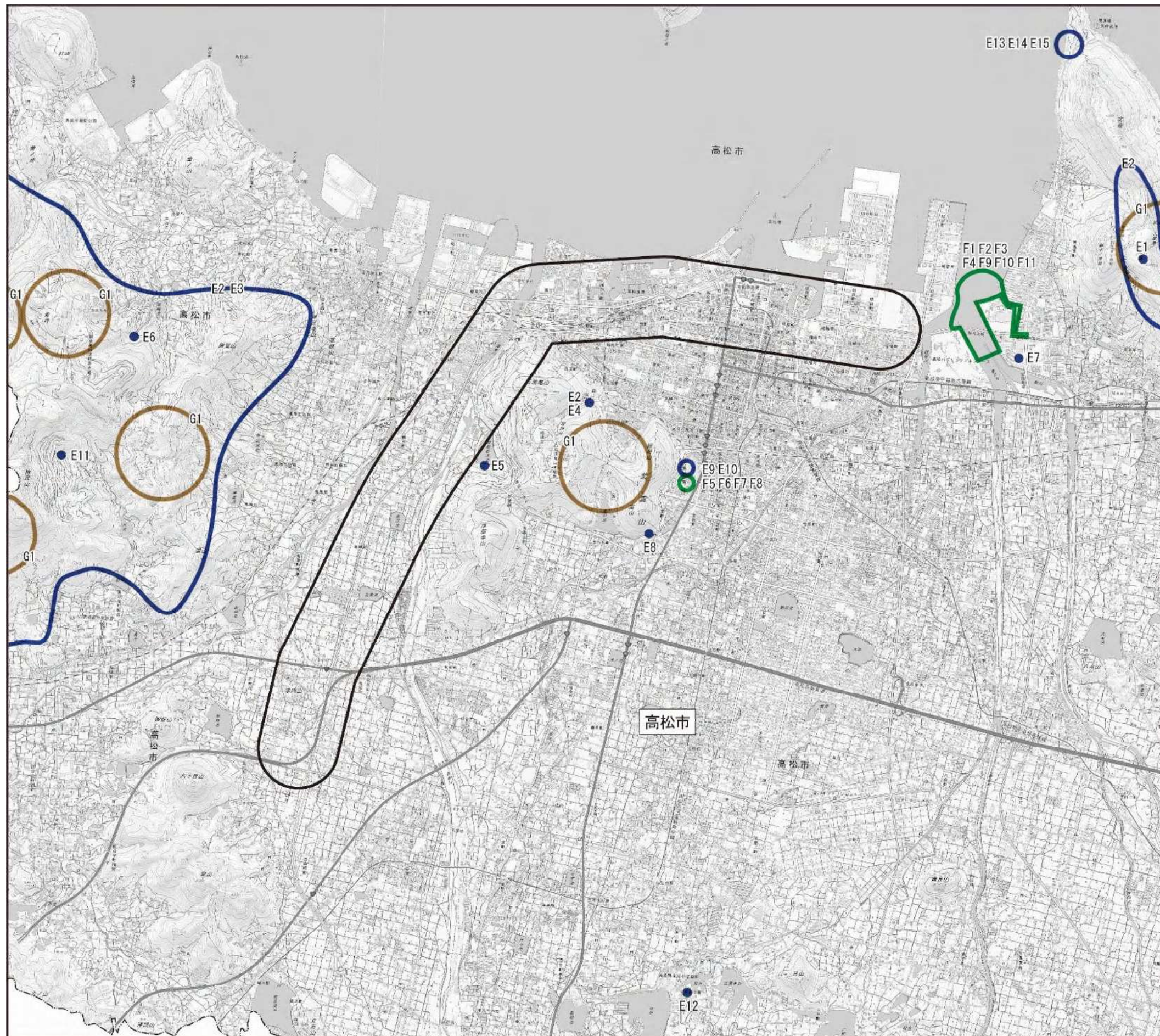
記号	番号	文献に示されている重要種位置
●	A1	オシドリ
	A2	ミサゴ
	A3	アオバズク
	A4	ハヤブサ
	A5	トラツグミ
●	B1	ニホンスッポン
	B2	ニホンイシガメ
●	C1	セトウチサンショウウオ
	C2	アカハライモリ
	C3	ナゴヤダルマガエル
●	D1	ニホンウナギ
	D2	ヤリタナゴ
	D3	ニッポンバラタナゴ
	D4	ヌマムツ
	D5	イトモロコ
	D6	ドジョウ
	D7	オオシマドジョウ
	D8	ミナミメダカ
	D9	トビハゼ
	D10	タケノコメバル
	D11	アイナメ
	D12	カワアナゴ
	D13	ヒモハゼ
	D14	シロウオ
	D15	タビラクチ
	D16	マサゴハゼ
	D17	シマヒレヨシノボリ
	D18	チクセンハゼ
	D19	クボハゼ

出典：「第1回自然環境保全基礎調査 すくれた自然図 香川県」（昭和51年、環境庁）
「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 香川県」（昭和56年、環境庁）
「香川生物 第29号～第51号」（香川生物学会）
「香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物」（令和3年3月、香川県）
「令和6年度版 高松市環境白書」（令和7年1月、高松市環境局環境総務課）

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-11(1) 重要な動物種の生息地位置図



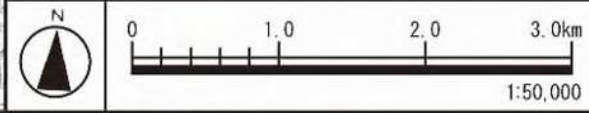


記号	番号	文献に示されている重要種位置
●○	E1	アオヤンマ
	E2	ヘリグロチャバネセセリ
	E3	ウラナミアカシジミ
	E4	クロツバメシジミ
	E5	シルビアシジミ
	E6	オオムラサキ
	E7	ヨドシロヘリハンミョウ
	E8	ホソハンミョウ
	E9	コミズスマシ
	E10	ヒメミズスマシ
	E11	アカマダラハナムグリ
	E12	トモンハナバチ
	E13	ヤネホソバ
	E14	ヤマトアオドウガネ
	E15	モンズメバチ
●○	F1	ツボミガイ
	F2	イボキサゴ
	F3	ウミニナ
	F4	ゴマフタマガイ
	F5	モノアラガイ
	F6	ヒラマキミズマイマイ
	F7	マルドブガイ
	F8	マシジミ
	F9	バカガイ
	F10	スジホシムシモドキ
	F11	テナガツノヤドカリ
○	G1	トサビロウドマイマイ

出典：「第1回自然環境保全基礎調査 すくれた自然図 香川県」(昭和51年、環境庁)
「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 香川県」(昭和56年、環境庁)
「香川生物 第29号～第51号」(香川生物学会)
「香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物」(令和3年3月、香川県)
「令和6年度版 高松市環境白書」(令和7年1月、高松市環境局環境総務課)

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-11(2) 重要な動物種の生息地位置図



(3) 注目すべき生息地の状況

① 天然記念物

調査区域には、「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）並びに「香川県文化財保護条例」（昭和 30 年 10 月 1 日香川県条例第 17 号）及び「高松市文化財保護条例」（昭和 41 年 3 月 29 日高松市条例第 13 号）に基づく天然記念物として指定されている生息地はありません。

② 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）

調査区域には、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」（平成 28 年 4 月、環境省自然環境局自然環境計画課）として、「東讃部および中讃部の水田・ため池群」が選定されています。

実施区域には、「東讃部および中讃部の水田・ため池群」の一部があります。

③ その他の注目すべき生息地の状況

調査区域における注目すべき生息地の状況について、調査区域には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」（昭和 55 年 9 月 22 日条約第 28 号及び外務省告示第 327 号）、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号）、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（平成 4 年 9 月 28 日条約第 7 号及び外務省告示第 460 号）、「香川県自然環境保全条例」（昭和 49 年 4 月 2 日香川県条例第 17 号）及び「香川県希少野生生物の保護に関する条例」（平成 17 年 7 月 15 日香川県条例第 44 号）で指定されている生息地等はありません。また、「シギ・チドリ類渡来湿地目録の作成等について」（平成 9 年 9 月、環境庁）、「重要野鳥生息地（IBA）の保護指定状況」（平成 30 年 3 月、日本野鳥の会）に掲載されている生息地はありません。

2) 文献による植物の生育の状況

(1) 植生の状況

調査区域における植生の状況は、図 4-1-12 に示すとおりです。

調査区域の植生は、大部分を市街地や水田雑草群落を占め、峰山公園周辺、浄願寺山一帯は、クロマツ群落、アベマキ-コナラ群集が多く見られます。

実施区域には、主に市街地や緑の多い住宅地、水田雑草群落が分布していますが、一部山地の範囲には果樹園、アベマキ-コナラ群集が分布しています。

(2) 自然度の状況

調査区域における自然度の状況は、図 4-1-13 に示すとおりです。

調査区域の大部分は、自然度の低い市街地・造成地等、農耕地（水田・畑）が占めています。峰山公園周辺、浄願寺山一帯では、二次林、農耕地（樹園地）、二次草原（背の低い草原）などが占めており、自然度がやや高い植生や土地利用が見られます。

実施区域には、主に市街地・造成地等や農耕地（水田・畑）が分布していますが、一部山地の範囲には農耕地（樹園地）や二次林が分布しています。また、香東川周辺に一部自然草原が分布しています。

(3) 植物相の状況

調査区域において生育記録のある植物種としては、55 目 137 科 662 種があげられます。調査区域において、ヒメミズワラビ、ホシダ、クロマツ、クスノキ、ギンラン、スズメノテッポウ、ウラギク等の生育が確認されています。

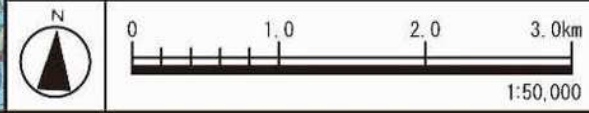


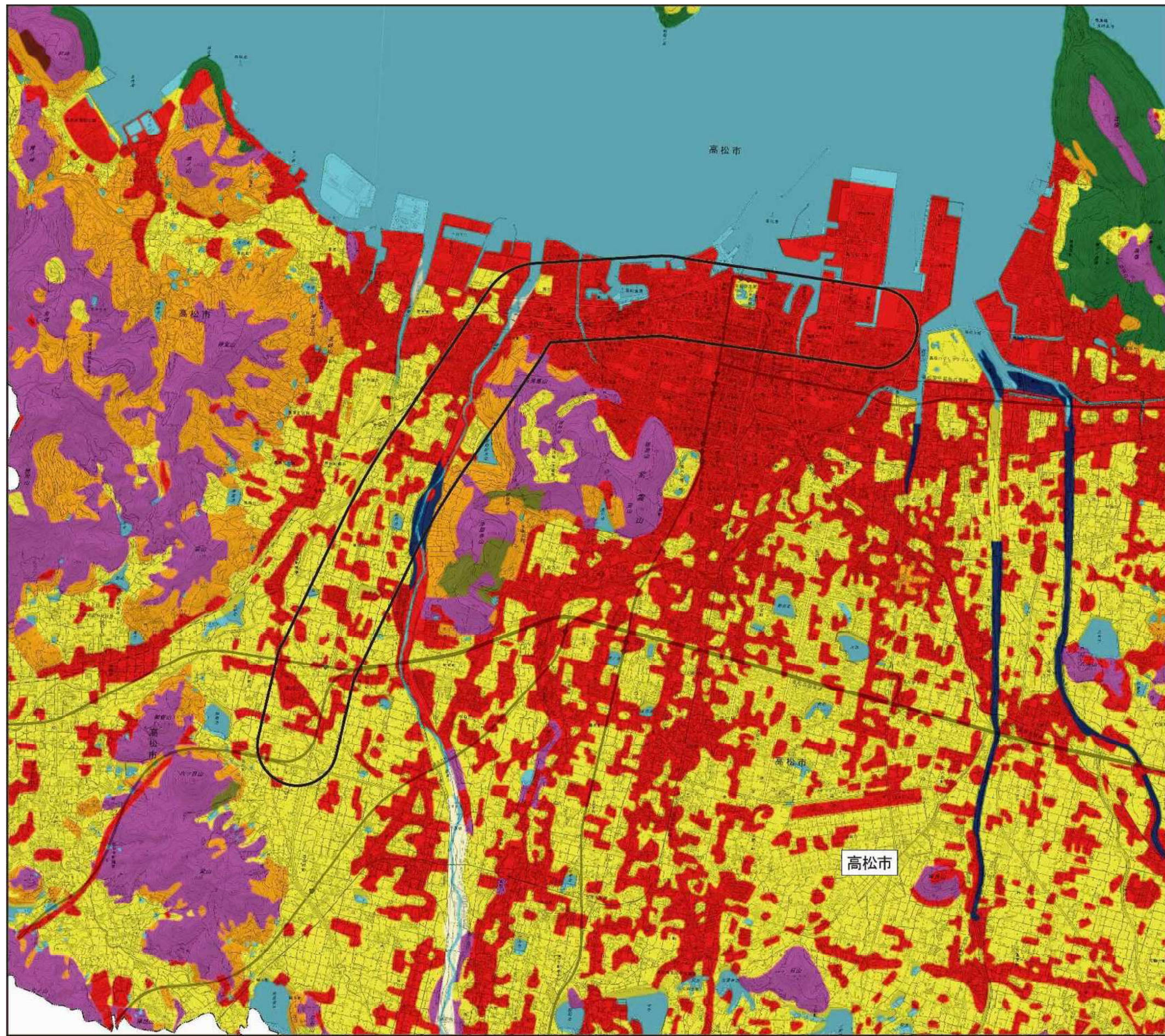
記号	区分	記号	区分
■	シラカシ群落	■	山火事跡地群落
■	アラカシ群落	■	ワラビ群落
■	アカガシ群落	■	ヌマガヤオーダー
■	ツクバネガシ群落	■	ヨシクラス
■	ウラジロガシ群落	■	ツルヨシ群落
■	コジイ群落	■	オギ群落
■	カナメモチ コジイ群落	■	ヒルムシロクラス
■	ホルトノキ群落	■	塩沼地補生
■	ウバメガシ群落	■	アッケシソウ群落
■	アカマツ群落	■	砂丘補生
■	イヌシデアカシデ群落	■	スギ・ヒノキ・サワラ植林
■	ハンノキ群落	■	クロマツ植林
■	ヤナギ高木群落	■	外国産樹種植林
■	ジャヤナギ群落	■	ニセアカシア群落
■	アカメヤナギ群落	■	その他植林
■	アキグミ群落	■	オオバヤシヤブ植林
■	イワシデ群落	■	クスノキ植林
■	トベラウバメガシ群落	■	クスノキ群落
■	シイ・カシ二次林	■	竹林
■	ウバメガシ二次林	■	ゴルフ場・芝地
■	コナラ群落	■	牧草地
■	アベマキコナラ群落	■	路傍・空地雑草群落
■	アカメガシワカラスザンショウ群落	■	放棄雑草群落
■	ミズキ群落	■	果樹園
■	アカメガシワエノキ群落	■	茶畑
■	アカマツ群落	■	雑草群落
■	ネズアカマツ群落	■	水田雑草群落
■	ウバメガシアカマツ群落	■	放棄水田雑草群落
■	クロマツ群落	■	市街地
■	タケ・ササ群落	■	緑の多い住宅地
■	メダケ群落	■	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
■	低木群落	■	工場地帯
■	クス群落	■	造成地
■	ススキ群団	■	煙害防護地
■	ウラジロコシダ群落	■	干拓地
■	ダンチク群落	■	開放水域
■	伐採跡地群落	■	自然裸地

出典：「自然環境調査Web-GIS」
 (令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP)

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-12 現存植生図



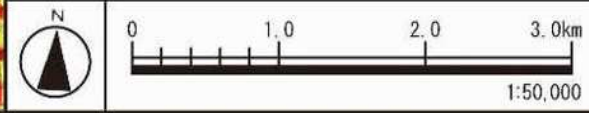


記号	自然度	区分
■	10	自然草原
■	9	自然林
■	8	二次林（自然林に近いもの）
■	7	二次林
■	6	植林地
■	5	二次草原（背の高い草原）
■	4	二次草原（背の低い草原）
■	3	農耕地（樹園地）
■	2	農耕地（水田・畑）
■	1	市街地・造成地等
□	00	不明区分
■	98	自然裸地
■	99	開放水域

出典：「自然環境調査Web-GIS」
 （令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP）

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-13 自然度区分図



(4) 重要な植物種及び群落の状況

① 重要な植物種の選定基準

重要な植物種の選定基準は、表 4-1-33 に示すとおりです。

表 4-1-33(1) 重要な植物種の選定基準とカテゴリ概要

番号	資料名	重要種選定基準
I	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号) 香川県文化財保護条例 (昭和 30 年 10 月 1 日香川県条例第 17 号) 高松市文化財保護条例 (昭和 41 年 3 月 29 日高松市条例第 13 号) 	特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：県指定天然記念物 市天：市指定天然記念物
II	<ul style="list-style-type: none"> 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 (平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号) 	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
III	<ul style="list-style-type: none"> 香川県希少野生生物の保護に関する条例 (平成 17 年 7 月 15 日香川県条例第 44 号) 	指定：香川県指定希少野生生物
IV	<ul style="list-style-type: none"> 第 5 次レッドリスト（植物・菌類）の公表について (令和 7 年 3 月 18 日、環境省) 	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR : 絶滅危惧 IA 類 EN : 絶滅危惧 IB 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足
V	<ul style="list-style-type: none"> 香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物 (令和 3 年 3 月、香川県) 	EX : 絶滅 EW : 野生絶滅 CR+EN : 絶滅危惧 I 類 VU : 絶滅危惧 II 類 NT : 準絶滅危惧 DD : 情報不足

表 4-1-33(2) 重要な植物種の選定基準とカテゴリ概要

番号	資料名	重要種選定基準
VI	<p>・国立・国定公園における植物の保護対策について（指定植物） （平成7年7月22日、環境省）</p>	<p>指定植物は、以下の①から⑧のいずれかの選定基準を満たし、風致の維持上又は生物多様性の保全上、その採取・損傷について規制する必要がある種</p> <p>①分布の特殊性を有する種 a: 分布の範囲が当該国立公園、国定公園及びその周辺に限定されている種 b: 隔離分布を呈する種 c: 当該国立公園、国定公園が国内における分布の東西南北の限界（もしくはそれに近い地域）となっている種</p> <p>②絶滅危惧種及び希少種 a: 環境省レッドリストの絶滅危惧種 絶滅危惧Ⅰ類（CR、EN）、Ⅱ類（VU）の種 b: 地域的に特に個体数が少ない種</p> <p>③希少な動物の生息に必要な種 希少な動物（高山蝶等）の生息域にあつて、当該動物と密接な種間関係（食草等）にある種</p> <p>④特殊な栄養摂取を行う種 a: 食虫植物 b: 腐生植物（菌従属栄養植物） c: 寄生植物</p> <p>⑤特殊な条件の立地に生育する種 以下のいずれか又は複数を主要な生育地とする種 a: 火山 b: 岩壁、岩隙地 c: 特殊岩石地 d: 崩壊性砂礫地 e: 雪崩斜面 f: 海岸断崖、砂丘 g: 風衝地 h: 風穴 i: 雪田 j: 高層湿原、中間湿原、湧水湿地 k: 池塘、流水縁 l: 塩沼地 m: 減水裸地（水位低下により一時的に生じる湿った裸地） n: 溪岸 o: 雲霧帯 p: 樹幹、樹上</p> <p>⑥季観を構成する特徴的な種 季節的な変化を見せる植物群落の構成種で特徴的な種</p> <p>⑦園芸業者、薬種業者、マニア等の採取対象となる種 商品的価値がある種又は収集の対象となる種</p> <p>⑧その他各公園の実情に応じて選定する種 選定基準①～⑦で選定されないが、学術的な観点や公園利用の観点、その他により各公園で特別に選定する必要がある場合に、本基準で選定する</p>

② 重要な植物種の状況

調査区域における重要な植物種の状況は、表 4-1-34 に示すとおりです。

調査区域において生育記録がある重要な植物としては、183 種があげられます。このうち、確認位置が特定できた重要種位置は、図 4-1-14 に示すとおりです。

実施区域には、既往調査及び文献により確認位置が特定できた重要な植物種は存在しません。

表 4-1-34(1) 既往調査及び文献により確認された重要な植物 (1/5)

番号	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
1	ミズニラ目	ミズニラ科	ミズニラ	26				NT	VU		
2			ミズニラモドキ	26				VU	VU		
3			オオバシナミズニラ	26				EN	CR+EN		
4	ハナヤスリ目	ハナヤスリ科	シチトウハナワラビ	26					CR+EN	②b	
5			コヒロハハナヤスリ	26					CR+EN	②b	
6			ヒロハハナヤスリ	26					CR+EN	②b	
7	マツバラ目	マツバラ科	マツバラ	26				NT	CR+EN	②b⑤b⑤p⑦	
8	ゼンマイ目	ゼンマイ科	ヤシャゼンマイ	26					CR+EN	②b⑤n	
9	コケシノブ目	コケシノブ科	ハイホラゴケ	26					CR+EN	②b⑤b⑤p	
10	サンショウモ目	サンショウモ科	アカウキクサ	26				EN	CR+EN		
11			サンショウモ	26				NT	VU		
12	ウラボシ目	イノモトソウ科	クジャクシダ	26					CR+EN		
13			ヒメミズワラビ	26					NT		
14			ヒメウラジロ	26				NT	VU	②a⑤b⑦	
15			エビガラシダ	26				VU	VU	②a⑤b	
16		ナヨシダ科	ウスヒメワラビ	26					NT		
17		チャセンシダ科	クモノスシダ	26					CR+EN		
18			イスチャセンシダ	26					CR+EN	②b⑤b	
19		ヒメシダ科	イブキシダ	26					CR+EN		
20		イワデンダ科	イワデンダ	26					VU	②b⑤b⑦	
21		コウヤワラビ科	クサソテツ	26					CR+EN		
22		メシダ科	ハコネシケチシダ	26						CR+EN	
23			サトメシダ	26						CR+EN	
24			ヘビノネゴザ	26						NT	
25			セイタカシケシダ	26						VU	
26			ムクゲシケシダ	26						VU	
27			オオヒメワラビ	26						VU	
28			ナチシケシダ	26						NT	
29			ミドリワラビ	26						CR+EN	②b
30			ホソバノコギリシダ	26						CR+EN	
31			オニヒカゲワラビ	26						CR+EN	
32			ノコギリシダ	26						CR+EN	
33			オンダ科	ハガクレカナワラビ	17					VU	
34		メヤブソテツ		26						CR+EN	②b⑤c
35		ヒロハヤブソテツ		26						NT	
36		ツクシヤブソテツ		26						CR+EN	
37		ミヤコヤブソテツ		17, 26						NT	
38		ツクシイワヘゴ		26						CR+EN	②b
39		ナチクジャク		26						CR+EN	②b⑦
40		オオクジャクシダ		26						VU	
41		ミヤマイタチシダ		26						CR+EN	
42		ナガサキシダ		26						CR+EN	⑦
43		ツルデンダ		26						CR+EN	
44		タマシダ科		タマシダ	16, 18						

表 4-1-34(2) 既往調査及び文献により確認された重要な植物 (2/5)

番号	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
45	ウラボシ目	ウラボシ科	ヤノネシダ	26					NT	⑤p⑦	
46			コウラボシ	26					CR+EN	⑤b	
47			サジラン	26					CR+EN	⑤b⑤p⑦	
48			オシヤグジデンド	26					CR+EN		
49	ヒノキ目	ヒノキ科	イブキ	26					NT	②b⑤f⑦	
50	スイレン目	スイレン科	コウホネ	26					VU		
51			サイコクヒメコウホネ	26					VU		
52	センリョウ目	センリョウ科	キビヒトリシズカ	26				VU	VU	②a②b⑦	
53	コショウ目	コショウ科	フウトウカズラ	26					VU		
54	オモダカ目	サトイモ科	ユキモチソウ	26				NT	VU	②a⑦	
55			ナンゴクウラシマソウ	26					CR+EN	②b⑦	
56		トチカガミ科	ヤマトウミヒルモ	26					CR+EN		
57			トチカガミ	26				NT	CR+EN		
58			ミズオオバコ	26				NT	VU		
59			セキショウモ	26					CR+EN		
60			シバナ科	シバナ	26				NT	CR+EN	②b⑤l
61			ヒルムシロ科	ササバモ	26					CR+EN	
62	ユリ目	ユリ科	アワコバイモ	26				VU	VU		
63			ヒメユリ	26				EN	CR+EN	②a②b⑦	
64			アマナ	26					VU		
65	クサスギカズラ目	ラン科	シラン	26				NT	VU		
66			ナツエビネ	26				VU	CR+EN		
67			ギンラン	26					VU	②b④b⑦	
68			キンラン	26				NT	VU	②a②b④b⑦	
69			カキラン	26					VU	②b⑤j⑥ ⑦	
70			アキザキヤツシロラン	16					CR+EN	②b④b	
71			ムヨウラン	26					CR+EN		
72			セイタカスズムシソウ	26					CR+EN		
73			フウラン	26					NT	CR+EN	②a②b⑤b ⑤p⑦
74			オオヤマサギソウ	26					CR+EN		
75			キンバイザサ科	キンバイザサ	16, 26					CR+EN	
76				コキンバイザサ	16					CR+EN	⑦
77			ススキノキ科	ユウスゲ	26				NT	②b⑥ ⑦	
78	ツユクサ目	ツユクサ科	ミズアオイ	26				NT	CR+EN		
79	ショウガ目	ショウガ科	ハナミョウガ	26					VU		
80	イネ目	ガマ科	コガマ	26					NT		
81		カヤツリグサ科	ベンケイヤワラスゲ	26					CR+EN		
82			カタスゲ	26					CR+EN	②b	
83			ヒゲスゲ	16						②b⑤f	
84			フサスゲ	16						①c(N)②b ⑤f⑦	
85		イネ科	ハネガヤ	16, 26					VU	①b⑤b	
86			イトスズメガヤ	18					VU		
87			ウンヌケモドキ	26					NT	CR+EN	
88			セイタカヨシ	26						NT	
89			ナガミノオニシバ	26						NT	

表 4-1-34(3) 既往調査及び文献により確認された重要な植物 (3/5)

番号	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
90	キンボウゲ目	メギ科	サイコクイカリソウ	26				VU	VU	②a⑦	
91		キンボウゲ科	オオバショウマ	26					VU		
92			サラシナショウマ	26					VU		
93			サイコクサバノオ	16, 26					CR+EN		
94			オキナグサ	26				NT	CR+EN	②a②b⑦	
95			ヒキノカサ	26				VU	CR+EN	②a②b	
96			イワカラマツ	26				VU	DD	②a	
97			タマカラマツ	26				EN	VU		
98	ユキノシタ目	ボタン科	ヤマシャクヤク	26				NT	VU		
99		カツラ科	カツラ	26					CR+EN		
100		ユキノシタ科	ジンジソウ	26					CR+EN		
101		ベンケイソウ科	ショウドシマベンケイソウ	26					VU		
102			ミツバベンケイソウ	26					VU	②b⑤b⑦	
103			ツメレンゲ	26				NT	NT	②b③ ⑤b⑥ ⑦ ⑧(タイプ ロカリティー)	
104			カンザシキリンソウ	26					CR+EN		
105			タイトゴメ	26					CR+EN		
106			アリノトウグサ科	オグラノフサモ	16				VU	CR+EN	
107				フサモ	26					VU	
108	マメ目	マメ科	ハマナタマメ	26					CR+EN	②b⑤f	
109			カワラケツメイ	26					VU		
110			イヌハギ	26				NT	NT		
111	バラ目	バラ科	バクチノキ	26					NT		
112			ツチグリ	26				VU	VU	②a②b⑤b	
113			シロヤマブキ	26				EN	VU	①b②a②b⑤c ⑤f⑦	
114			シモツケ	20						⑤b⑦	
115	ブナ目	ブナ科	イスブナ	26					NT		
116		クルミ科	サワグルミ	26					VU		
117	ニシキギ目	ニシキギ科	ウメバチソウ	26					CR+EN	②b⑤j⑦	
118	カタバミ目	カタバミ科	コミヤマカタバミ	26					VU		
119	キントラノオ目	トウダイグサ科	マルミノウルシ	16				NT	CR+EN	①a①b①c(W S)②b⑤b	
120		スマレ科	ヒゴスマレ	26					NT	⑦	
121			エイザンスミレ	26					CR+EN		
122			アケボノスマレ	26					VU		
123		オトギリソウ科	トモエソウ	26					CR+EN		
124		ムクロジ目	ムクロジ科	トチノキ	26					CR+EN	
125	アオイ目	アオイ科	ハマボウ	26					CR+EN	②b⑤1⑥ ⑦	
126	アブラナ目	アブラナ科	ミズタガラシ	26					NT		
127			ワサビ	26					VU		
128			コイヌガラシ	26				NT	VU		
129	ビャクダン目	ビャクダン科	ヒノキバヤドリギ	26					NT		
130		オオバヤドリギ科	マツグミ	26					NT		
131	ナデシコ目	イソマツ科	ハマサジ	26				NT	NT	②b⑤1	
132		タデ科	サデクサ	26					DD		
133		モウセンゴケ科	イシモチソウ	26				NT	NT	②b④a⑤b⑤j	

表 4-1-34(4) 既往調査及び文献により確認された重要な植物 (4/5)

番号	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準						
					I	II	III	IV	V	VI	
134	ナデシコ目	ナデシコ科	ミミナグサ	26					NT		
135			ウシオツメクサ	26					CR+EN	②b⑤1	
136		ヒユ科	イソホウキギ	26					NT		
137			アッケシソウ	1, 18				VU	CR+EN		
138			マツナ	26					NT	⑤1	
139			ハママツナ	26					NT	②b⑤1	
140			ミズキ目	アジサイ科	ヤハズアジサイ	26				VU	
141	ツツジ目	ツツジ科	ウメガサソウ	26					CR+EN	②b⑦	
142			ホンシヤクナゲ	26					NT	②b⑤b⑥⑦	
143			ツクシヤクナゲ	26					NT	⑤b⑥⑦	
144	リンドウ目	アカネ科	クルマバアカネ	26					CR+EN	②b⑤f	
145			ハクチョウゲ	16, 18				VU			
146		リンドウ科	リンドウ	26					NT		
147			アサマリンドウ	26					NT		
148			センブリ	26					NT		
149			ムラサキセンブリ	26				NT	CR+EN	②b⑦	
150		マチン科	アイナエ	26					CR+EN		
151		キョウチクトウ科	フナバラソウ	26				NT	CR+EN	②a②b⑦	
152		シソ目	オオバコ科	アブノメ	26					CR+EN	
153				キクガラクサ	26					NT	NT
154	イヌノフグリ			26					NT	VU	
155	カワヂシャ			26					NT	NT	
156	スズメハコバ			26					NT	CR+EN	
157	シソ科		シロネ	26						CR+EN	
158			シロバナヤマジソ	26						CR+EN	
159			ヤマジソ	26					NT	CR+EN	②b
160			ミゾコウジュ	26					NT	NT	
161			ハナタツナミソウ	26						CR+EN	
162			ヤマタツナミソウ	17						CR+EN	⑦
163			ハマウツボ科	ヒキヨモギ	26						NT
164	オオヒキヨモギ			26					NT	VU	②a②b
165	タヌキモ科		ミミカキグサ	26						NT	
166			ホザキノミミカキグサ	26						VU	②b④a⑤j
167	キツネノマゴ科	ハグロソウ	26						CR+EN		
168	キク目	キキョウ科	キキョウ	26					NT	NT	②a②b⑥⑦
169		ミツガシワ科	アサザ	33					NT	CR+EN	
170		キク科	フクド	26					NT	VU	②b⑤1
171			タウコギ	26						CR+EN	
172			カセンソウ	26						NT	②b
173			アキノハハコグサ	26					EN	CR+EN	
174			ヒメヒゴタイ	26					VU	CR+EN	②a②b
175			サワオグルマ	26						NT	⑤j
176			ウラギク	26					NT	VU	②b⑤1⑥
177			オナモミ	16, 26					VU	NT	

表 4-1-34 (5) 既往調査及び文献により確認された重要な植物 (5/5)

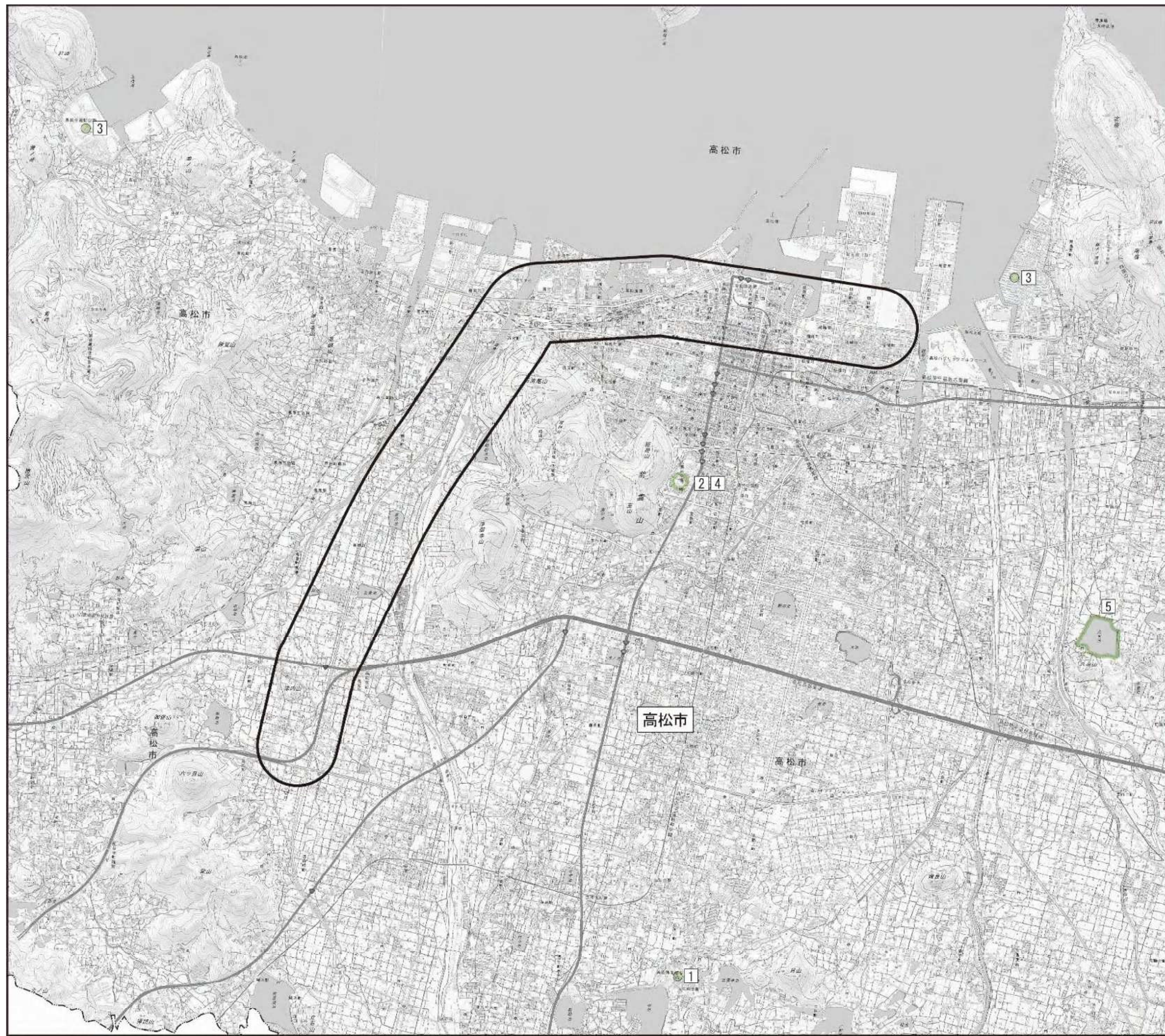
番号	目名	科名	種名	文献 No.	選定基準					
					I	II	III	IV	V	VI
178	セリ目	セリ科	ミシマサイコ	26				VU	VU	②a②b⑦
179			ハマゼリ	26					NT	
180	マツムシソウ目	ガマズミ科	チョウジガマズミ	26				NT	VU	⑤c
181		スイカズラ科	ウスバヒョウタンボク	26				VU	NT	②a
182			ヤマヒョウタンボク	26					NT	
183			オミナエシ	26					NT	
重要な種の合計 37目 76科 183種					0種	0種	0種	58種	177種	75種

注) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

表 4-1-35 確認位置が特定できた重要な植物種

番号	分類	種名	選定基準						文献 No.
			I	II	III	IV	V	VI	
1	植物	ハガクレカナワラビ				VU			17
2		キンバイザサ					CR+EN		16
3		アッケシソウ				VU	CR+EN		1
4		スズメハコベ				NT	CR+EN		26
5		アサザ				NT	CR+EN		33

注) 表中の番号は、図4-1-14の番号に対応している。

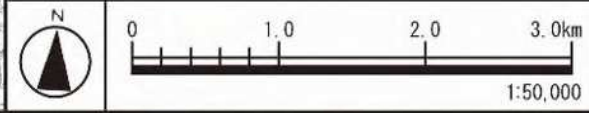


記号	番号	文献に示されている重要種位置
●	1	ハガクレカナワラビ
	2	キンバイザサ
	3	アッケシソウ
	4	スズメハコベ
	5	アサザ

出典: 「第1回自然環境保全基礎調査 すぐれた自然園 香川県」(昭和51年、環境庁)
「香川生物 第29号～第51号」(香川生物学会)
「香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物」(令和3年3月、香川県)
「指定希少野生生物保護区の指定」(平成19年5月11日香川県告示第280号)

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-14 重要な植物種の生育地位置図



③ 重要な植物群落の状況

調査区域における重要な植物群落の状況は表 4-1-36 に、位置は図 4-1-15 に示すとおりです。調査区域には、「植物群落レッドデータ・ブック<1996>」（平成 8 年、(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会）による保護上重要群落並びに特定植物群落として選定されている「屋島北嶺のウバメガシ林」と、「香川県希少野生生物の保護に関する条例」（平成 17 年 7 月 15 日香川県条例第 44 号）による指定希少野生生物保護区として指定されている「アサザ生育地久米池保護区」の 2 箇所があります。

なお、「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）並びに「香川県文化財保護条例」（昭和 30 年 10 月 1 日香川県条例第 17 号）及び「高松市文化財保護条例」（昭和 41 年 3 月 29 日高松市条例第 13 号）、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号）、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（平成 4 年 9 月 28 日条約第 7 号及び外務省告示第 460 号）で指定されている生育地はありません。

実施区域には、重要な植物群落はありません。

表 4-1-36 文献により確認された重要な植物群落

番号	群落名	文献 No.	選定基準			
			文化財	香川県条例	植物群落 RDB	特定植物群落
1	屋島北嶺のウバメガシ林	2, 3, 5, 34			○	○
2	アサザ生育地久米池保護区	33		○		

注1) 重要な植物群落の選定基準は以下の資料に基づく。

文化財：文化財保護法（昭和25年5月30日法律第214号）

香川県文化財保護条例（昭和30年10月1日香川県条例第17号）

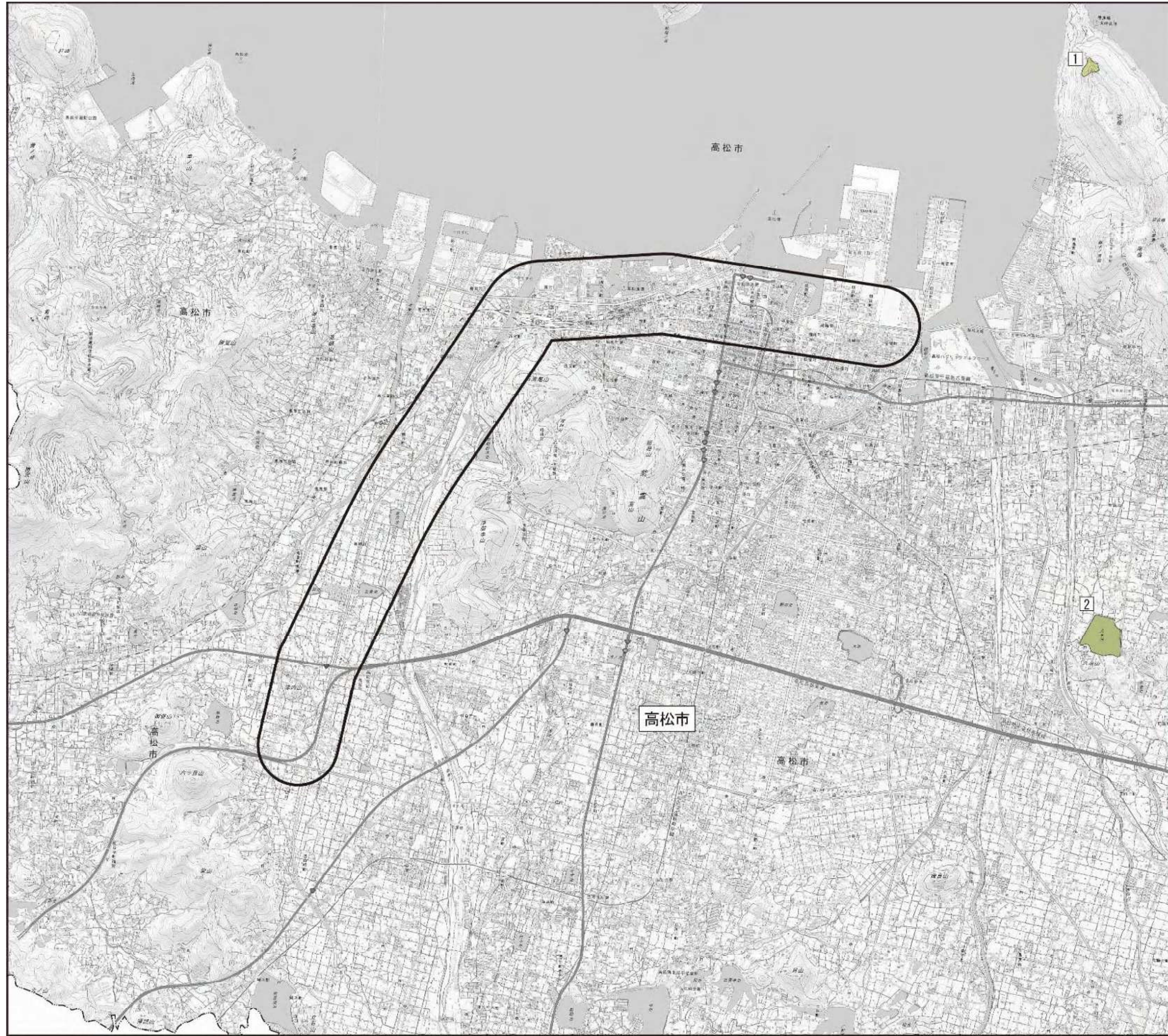
高松市文化財保護条例（昭和41年3月29日高松市条例第13号）

香川県条例：「香川県希少野生生物の保護に関する条例」（平成17年7月15日香川県条例第44号）による指定希少野生生物保護区

植物群落 RDB：「植物群落レッドデータ・ブック<1996>」（平成8年、(財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会）による保護上重要群落として選定された植物群落

特定植物群落：「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 香川県」（昭和56年、環境庁）・「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 香川県」（平成元年、環境庁）・「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年、環境庁）による特定植物群落

注2) 表中の文献 No. は、表4-1-29既存文献資料一覧の番号に対応している。

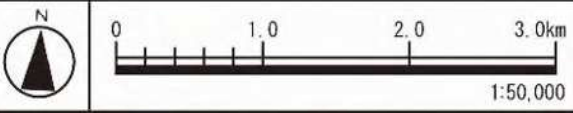


記号	番号	文献に示されている重要な植物群落
■	1	屋島北嶺のウバメガシ林
	2	アサザ生育地久米池保護区

出典：「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 香川県」（昭和56年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書ほか」（昭和63年～平成元年、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査報告書ほか」（平成13～14年、環境省）
「指定希少野生生物保護区の指定」（平成19年5月11日香川県告示第289号）
「植物群落レッドデータ・ブック1996」
（平成28年、財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金日本委員会

○ 都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-15 重要な植物群落位置図



(5) その他の注目すべき植物

① 天然記念物（樹木指定）

調査区域における「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）並びに「香川県文化財保護条例」（昭和 30 年 10 月 1 日香川県条例第 17 号）及び「高松市文化財保護条例」（昭和 41 年 3 月 29 日高松市条例第 13 号）に基づく天然記念物（樹木指定）の指定状況は表 4-1-37 に、位置は図 4-1-16 に示すとおりです。調査区域には、7 箇所の樹木指定の県及び市の天然記念物があります。

実施区域には、西方寺配水池のソメイヨシノがあります。

表 4-1-37 天然記念物（樹木指定）の指定状況

指定	種別	名称	所在地	指定年月日
県	天然記念物	船山神社のクス	船山神社（高松市仏生山町甲 1149）	昭和 35 年 7 月 7 日
		ソテツの岡	栗林公園（高松市栗林町一丁目 20-16）	昭和 37 年 4 月 14 日
		根上がりカン	栗林公園（高松市栗林町一丁目 20-16）	昭和 37 年 4 月 14 日
		一瀬神社社叢	一瀬神社（高松市中山町 1202-1）	昭和 46 年 4 月 30 日
市		大石さんのムクノキ	大石神社（高松市西山崎町 1328 番 2）	昭和 50 年 3 月 13 日
		平石井神社のクロガネモチ	平石井神社（高松市今里町 2-1-10）	昭和 54 年 8 月 1 日
		西方寺配水池のソメイヨシノ	西方寺配水池（高松市西宝町三丁目 738-1）	平成 20 年 4 月 1 日

出典：「香川の文化財一覧」（令和7年7月現在、香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課 HP）
「高松市内の指定文化財」（令和7年7月現在、高松市創造都市推進局文化財課 HP）

② 生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）

調査区域には、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」（平成 28 年 4 月、環境省自然環境局自然環境計画課）として、「東讃部および中讃部の水田・ため池群」が選定されています。

実施区域には、「東讃部および中讃部の水田・ため池群」の一部があります。

③ 巨樹・巨木林

調査区域における巨樹・巨木林の状況は表 4-1-38 に、位置は図 4-1-16 に示すとおりです。調査区域には、巨樹・巨木林が 11 種類あります。

実施区域には、巨樹・巨木林はありません。

表 4-1-38 巨樹・巨木林の状況

番号	市	樹種
1	高松市	エノキ
2		スギ
3		テリハオヒョウ
4		モミ
5		クスノキ
6		センダン
7		イチョウ
8		ホルトノキ
9		ユーカリ
10		ムクロジ
11		ヒマラヤスギ

出典：「第4回自然環境保全基礎調査 香川県自然環境情報図」（平成7年、環境庁）
「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」（平成13年、環境省）
「自然環境調査 Web-GIS」（令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP）
「巨樹・巨木林データベース」（令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP）

④ 香川県自然記念物

香川県では、「香川県自然環境保全条例」（昭和 49 年 4 月 2 日香川県条例第 17 号）第 28 条第 1 項に基づき、植物、地質等で、親しみのあるものや学習的価値のあるもの、またこれらが周辺の土地と一体となって良好な自然環境を形成しているものを、将来にわたり保全するため自然記念物として指定しています。調査区域における自然記念物の指定状況は表 4-1-39 に、位置は図 4-1-17 に示すとおりです。調査区域には、指定記念物が 4 箇所あります。

実施区域には、自然記念物はありません。

表 4-1-39 自然記念物の指定状況

番号	名称	所在地	指定年月日
1	岩田神社のフジ（植物）	高松市飯田町	昭和 46 年 10 月 1 日
2	廣田八幡神社社叢（植物）	高松市太田上町	昭和 59 年 3 月 21 日
3	熊野神社社叢（植物）	高松市出作町	昭和 61 年 9 月 24 日
4	櫻木神社の森（植物）	高松市多肥上町	平成 4 年 3 月 6 日

出典：「香川県自然記念物一覧」（令和7年7月現在、香川県環境森林部みどり保全課HP）

⑤ 香川県の保存木

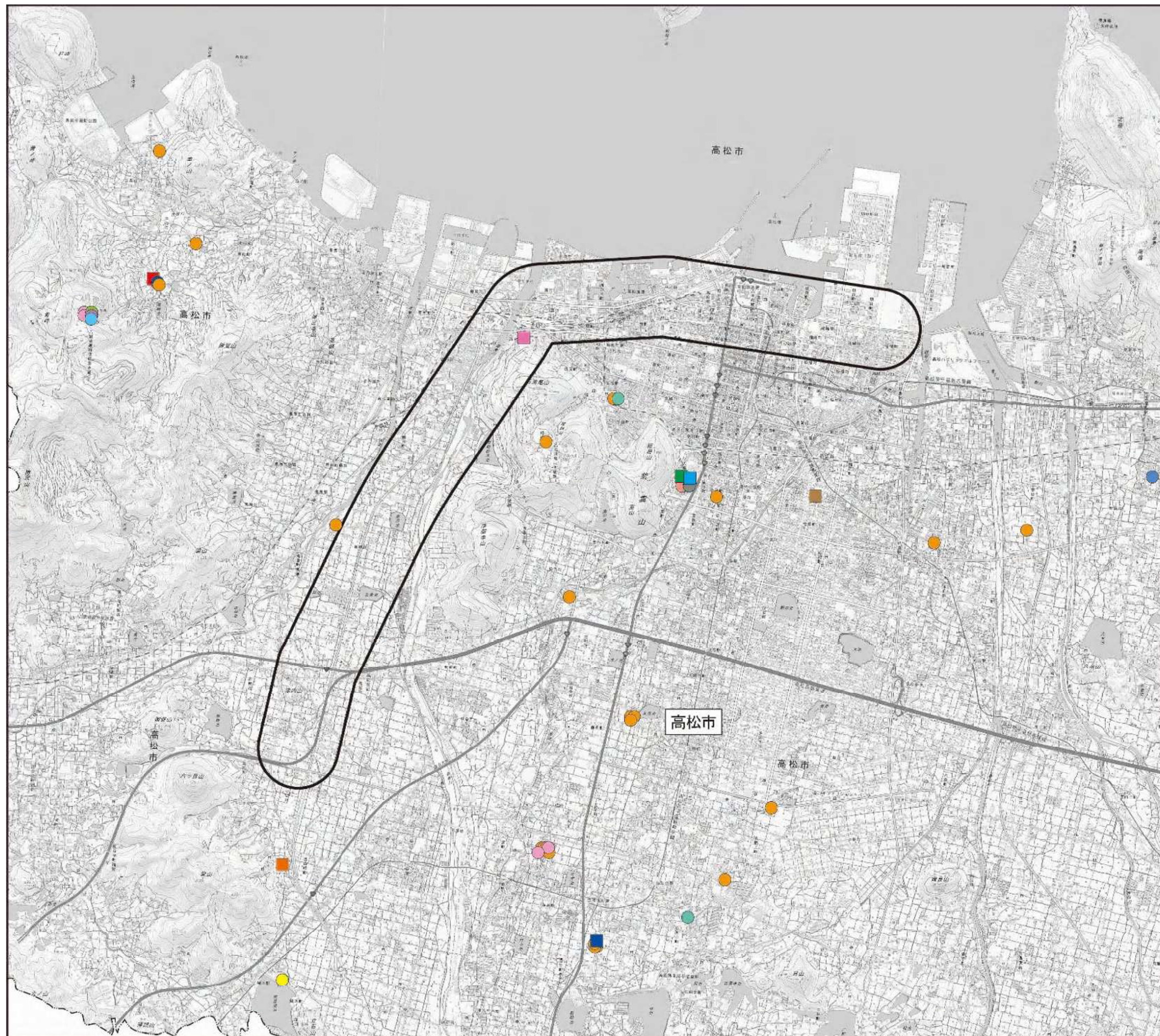
香川県では、郷土の景観や地域のシンボルとして貴重である樹木や樹林のうち、大きさや樹齢等の基準を満たすものを保存木として指定しています。調査区域における保存木の指定状況は表 4-1-40 に、位置は図 4-1-17 に示すとおりです。調査区域には、保存木が 2 箇所あります。

実施区域には、保存木はありません。

表 4-1-40 保存木の指定状況

番号	名称	所在地	指定年月日
1	大石さんのムクノキ	高松市西山崎町	昭和 55 年 11 月 6 日
2	十蓮坊のイスノキ群	高松市仏生山町	平成 20 年 3 月 21 日

出典：「香川の保存木一覧」（令和7年7月現在、香川県環境森林部みどり保全課 HP）

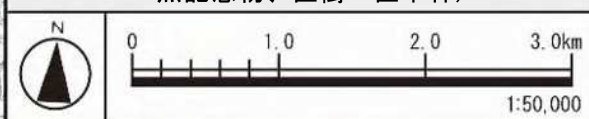


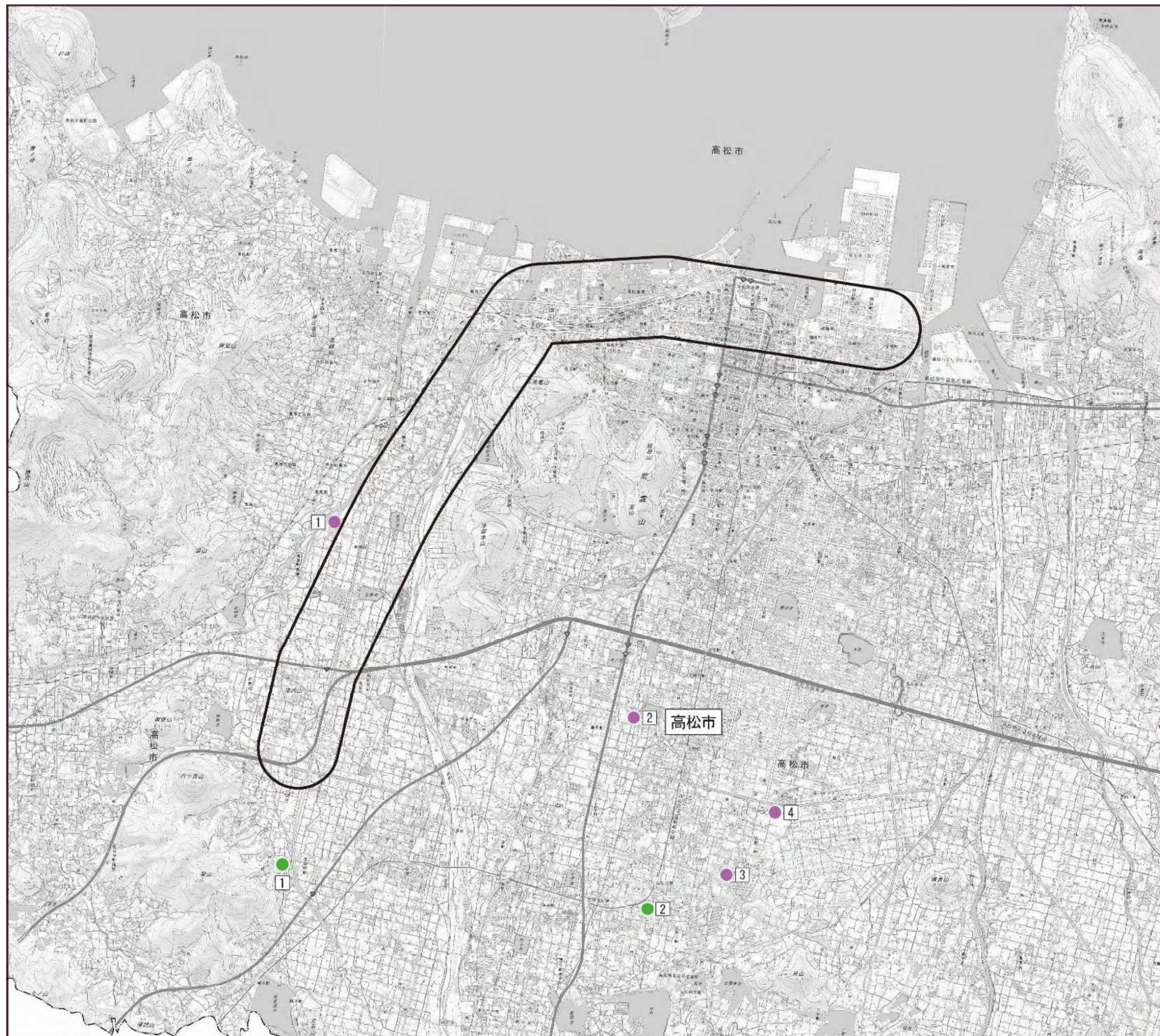
記号	区分	名称
■ (Red)	天然記念物	一瀬神社社叢
■ (Green)		ソテツの岡
■ (Blue)		根上がりカシ
■ (Dark Blue)		船山神社のクス
■ (Orange)		大石さんのムクノキ
■ (Pink)		西方寺配水池のソメイヨシノ
■ (Brown)		平石井神社のクロガネモチ
● (Pink)	巨樹・巨木林	エノキ
● (Light Green)		スギ
● (Purple)		テリハオヒョウ
● (Light Blue)		モミ
● (Orange)		クスノキ
● (Yellow)		センダン
● (Light Green)		イチヨウ
● (Light Orange)		ホルトノキ
● (Blue)		ユーカリ
● (Dark Blue)		ムクロジ
● (Grey)		ヒマラヤスギ

出典：「香川の文化財一覧」
 (令和7年7月現在、香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課HP)
 「高松市内の指定文化財」(令和7年7月現在、高松市創造都市推進局文化財課HP)
 「第4回自然環境保全基礎調査 香川県自然環境情報図」(平成7年、環境庁)
 「第6回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」
 (平成13年、環境省)
 「自然環境調査Web-GIS」
 (令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP)
 「巨樹・巨木林データベース」
 (令和7年7月現在、環境省自然環境局生物多様性センターHP)

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-16 その他の注目すべき植物位置図(天然記念物、巨樹・巨木林)





記号	区分	番号	名称
●	自然記念物	1	岩田神社のフジ (植物)
		2	廣田八幡神社社叢 (植物)
		3	熊野神社社叢 (植物)
		4	櫻木神社の森 (植物)
●	保存木	1	大石さんのムクノキ
		2	十蓮坊のイスノキ群

出典：「香川県自然記念物一覧」(令和7年7月現在、香川県環境森林部みどり保全課HP)
「香川の保存木一覧」(令和7年7月現在、香川県環境森林部みどり保全課HP)

都市計画対象道路事業実施区域

図 4-1-17 その他の注目すべき植物位置図 (自然記念物、保存木)

